

No.8
2014.04



清水柔道クラブ 始動!

今月の組人
清水の柔道伝道師



この地区的柔道の伝統を 子どもたちに 受け継いでもらいたい…

2014年4月、福井市清水地区において、共に柔道を愛する有志によって「清水柔道クラブ」が設立された。この背景には、平成25年度、清水中学校柔道部の休部がある。かつてより柔道の強豪であり、永く優秀な選手を多数輩出してきた清水地区だけに、部員の減少を受けての休部は、同地区で柔道を通じて様々な交流を深めてきた方たちにとっては、とても悲しいニュースだった。

「なりゆきに任せせるのではなく、私たち大人が積極的に地域のスポーツ活動に関わり、子どもたちに柔道を受け継いでもらいたい。」と立ち上げる想いを語ってくれたのは、清水柔道



クラブの発起人であり、同クラブ会長でもある足田耕二さんだ。清水出身でない足田さんの想いに賛同し、幅広い年代の人々が共に発起人に名を連ねてくれた。清水出身の上は64歳から下は小学3年生までが、それぞれに役割を分担して設立に至った。そして、彼は次のように続けている。

「この柔道クラブは強くなることには、それほどこだわっていない。大人も子どもも共に汗をかいて、泣き、笑いして、『柔道って楽しい!』って感じて欲しい。そう、まずは子どもたちに柔道を好きになってもらいたい。」

彼がここで「大人も子どもも…」と言ったのは、単に子どもたちに教えるだけでなく、自分たち大人も柔道を続けたい!という気持ちの表れと、彼自身が経験した「柔道を通して親子の深い絆」が関係しているように思う。

たくさんの人 ものに感謝することが 礼儀作法の始まり

足羽中学校で柔道を始めた足田さん。当時、足羽中柔道部は部員が20数名。清水中学校同様こちらも強い先輩や良い指導者に教わる伝統があり、365日柔道に明け暮れていた。道守高校在学中には、全国高等学校定期制通信制柔道大会において、現クラブ選手会長の佐々木秀幸さんらと共に団体戦3位という輝かしい成績を収めている。現在、柔道三段の足田さんに柔道を始めたきっかけを聞くと、「僕は太っていたから…、だけど体が小さくてもダメなわけじゃない。」

柔道は自分より大きい相手にも技で勝つことができる。体の大きな選手がその大きさや力を使う柔道をするように、小柄な選手には俊敏性や潜り込んでその体型を活かした技がある。五輪で2度、世界選手権で7度、金メダルを獲得した「やわらちゃん」が146cmしかない事が良い例だろう。また、柔道で最初に習うのが「受け身」であるように、格闘技だが相手にケガをさせずに倒す事も柔道の良い所である。



柔道から学ぶ事は技や強さだけではなく、正しい礼儀作法。私はうかつにもスリッパで道場に入ってしまったが、武道館ではどんなに小さな子どもでも建物に入る時、先生に会った時、会場に対して、相手に対して、至るところで「礼」を欠かさなかつた。言葉だけのものではなく、

自然に体に刷り込まれる正しい礼儀作法を身につける事が出来る。柔道の強さはもとより、この精神的な部分に魅力を感じ、「柔道をしてみたい」と考える方もきっと多いのではないかろうか。



相手と必ず向き合うのが柔道 そのおかげで息子や地域の人達と 本当に向き合うことができた

現在クラブは大人8名、子ども10名で活動中。子どものメンバーの中には足田さんの息子さんもいる。実は、彼は発達障がいを持って生まれ、太鼓や水泳など色々な事を習わせたがどれも長続きしなかったという。しかし柔道だけは違つたようで、その理由を問うと、

「柔道は、必ず自分が主役になるスポーツ。勝つか負けるかはともかく、相手と1対1でびったり組み合う。相手の目線、呼吸、温度、気持ちが真っ向から直結する。だからあの子だけが置いてきぼりにならない。そういう意味では障がいがあるって、あつても、素行の悪い子にも向いているスポーツ。」

清水の柔道伝道師 足田 耕二さん (38歳)
信条としている言葉
「精力善用・自他共榮」
柔道の創始者
嘉納治五郎の言葉
取材:宮本 隆行
撮影:高橋 正勝

そして足田さん自身も息子を教え、一緒に汗を流す事で真に息子と向き合うことができたという。

「もっと早く教えてやれば良かったと思うくらい。そして何より、うちのかみさんもすごく喜んでいるんです。」

そこには確かに普段の暮らしの中では生まれない「家族の絆」が結ばれていた。



足田さんはクラブ設立の目標のひとつに清水中学校柔道部の復活を掲げている。子どもたちの将来を決めるのは彼ら自身。だがその基盤を作るのは身近な大人の役目だ。それを共に体で感じながら作っていくことは、とても素晴らしいことだと思う。お母さん、お父さんにも、送り迎えだけでなく道場に一緒に来て柔軟体操をするだけでもいい。柔道を通して、いま一度お子さんと向き合ってみてはいかがだろうか?



少年部のみんなが、中学校や高校に行ってもずっと楽しく柔道を続けて全員が黒帯になれるよう、私たちがしっかり指導します!

少年育成部門



事務局長
衆島 弘昌



少年育成部長
宇野 哲夫



少年指導部長
土橋 剛



保護者会会長
林 哲庸



僕たちといっしょに
心と体をきたえよう!

一般部門



会長
足田 耕二



副会長
三上 雅章



選手会長
佐々木秀幸

昔柔道をしていた方、これから柔道を始めたい方など、それぞれの目標に合わせてみんなで楽しく柔道をやっていきましょう!

清水柔道クラブ 参加者募集



●こどもの素行に悩んでいて礼儀作法を教えてほしい。

●障がい・発達障がいなどがあってスポーツができないと思っている。

当会会長が、発達障がい・不登校などを支援する団体の理事を兼務しています。

障がいの有無・程度や、問題のある部分に応じて関係機関や支援団体と連携しながら、個別に支援・指導します。

●日頃の運動不足を解消したい、心身ともに強くなりたい。などなど

【参加資格】年齢・性別・地域など参加資格は問いません。清水地区の住民が中心となり運営していますが、近隣からの参加者もおられます。

【日時・場所】毎週月・木の19:00~21:00まで(祝日・盆・正月等を除く)清水中武道場にて少年の部(小学生以下)と一般(中学生以上)に分かれて練習します。

【年会費】5,000円とスポーツ保険料のみ(柔道着を新たに買っても月1,000円以下)

送迎に来るご家族も運動ができる服装で来られたら一緒に運動しましょう!

【連絡先】事務局 衆島自動車内 tel.0776-98-3834

もしくは携帯090-8266-5059(足田)まで、お気軽にお電話下さい。

地域で運営に協力して下さっている企業

●衆島自動車 ●宇野整骨院 ●T-bonネットワーク ●Galle ●土橋商店